

令和元年度 第2回

総合教育会議 会議録

曾 於 市

# 令和元年度 第2回総合教育会議

日 時

令和2年3月9日（月） 午前9時00分～

場 所

曾於市役所3階 執行部控室

出席者

出席者

五位塚 剛 市長  
八木 達範 副市長  
大休寺 拓夫 副市長  
瀬下 浩 教育長  
馬場 雅子 教育委員  
川畑 和徳 教育委員  
地主園 栄美子 教育委員  
長野 かおり 教育委員

事務局

総務課長  
総務課 施策推進室 室長  
総務課 施策推進室 係員1名

教育委員会

総務課長  
社会教育課長  
学校教育課長  
総務課長補佐  
総務課 総務係 係員2名

会 順	審 議 の 結 果 等
<p>協議事項 (1) 曾於市教育大綱 について</p>	<p>◎市長 曾於市教育大綱案について説明をお願いします。</p> <p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 (曾於市教育大綱案について説明)</p> <p>◎市長 説明のあった教育大綱案について協議をお願いします。</p> <p>◎馬場委員 大綱の基本理念の基本目標に「調和のとれた生きる力を備え、将来自立して、他者とともに生きることのできる曾於の児童生徒」とありますが、目標として掲げるのであれば「児童生徒」と終わるのではなく、「～を目指す」等を付け足した方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>◎教育長 基本目標とあるのは児童生徒や曾於市民の目指す姿を記載したものであります。意図したことが伝わりやすいよう児童生徒の後に「(目指す姿)」と追記します。</p> <p>◎川畑委員 これは感想になりますが、これまで行ってきた夢実現チャレンジとの繋がりを持たせなければならないと考えています。教育施策の方向性(4)の具体的な施策に(3)夢実現にチャレンジする青少年の育成とありますので、そこに繋がっていると考えています。</p> <p>◎長野委員 基本理念に「個性豊かな」とありますが、この個性豊かというのは、どのようなことを指しているのでしょうか。</p> <p>◎教育委員会総務課長補佐 この「個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり」という理念は、市の総合振興計画に定められているものです。 個性豊かというのは、例えば、岩川小学校は弥五郎まつり、高岡小学校ではシンボルツリーの銀杏の木など、各学校の特色を活かして児童生徒の育成を行っていくことが考えられます。</p>

	<p>◎教育長 個性とは、児童生徒一人一人を尊重することや、各学校や地域の特性を活かした教育を行っていくという意図です。</p> <p>◎馬場委員 個性豊かな教育というの「個性豊かな」の用法がしっくりこない印象なのですが。</p> <p>◎教育委員会総務課長補佐 市の総合振興計画に記載されているため、この部分のみを変更はできませんが、総合振興計画の次期の変更時に検討いたします。</p> <p>◎地主園委員 市内の子どもたちの虫歯の治療率が低くなっています。また、子どもだけでなく保護者の治療率も低いようです。 最近姿勢が悪い子どもも多くなってきており、そういった子どもが早めに受診するよう、指導していかなければならないと思います。</p>
<p>(2) 曾於高等学校支援対策について</p>	<p>◎市長 曾於高等学校支援対策について説明をお願いします。</p> <p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 曾於高等学校支援対策については、条例を制定する際に議会から3年を目途に見直しを行うことと附されていきました。令和2年度が3年目に当たりますので、今回協議にあげさせていただきました。 (曾於高等学校の入学者数の推移、卒業生の進路の推移、外部評価委員の評価、アンケート結果について説明)</p> <p>◎市長 アンケート結果にもありましたが、大学進学祝金については、この祝金があるから曾於高校へ進学するという生徒は少ないと考えています。元々曾於高校から国立大学等に進学した実績を広く知ってもらおうという意図もあり、設けたものでした。 また、新たな支援対策としては、大学卒業後に市内へ就職した方は返済不要となる奨学金制度も検討しています。</p> <p>◎教育長 返済不要の奨学金は非常に良い制度だと思います。</p>

	<p>◎市長 現在の市の奨学金も返済が滞っている方がおります。返済を依頼していますが、経済的に厳しい状況であると思われます。社会人になって市内に戻ってくる方は返済を免除することで市の活性化にも繋がると考えています。</p> <p>◎川畑委員 市に小中高校があるというのは、人が住みたいと思うのに大事な要素だと思います。 曾於高校の支援については、文理科を他の高校に負けないよう強化していくのか、他の学科も全体的に生徒数を増やすのか。どの観点で取組んでいくのか明確にした方が良いと思います。 祝金は良い制度ではありますが、対象となるのは入学する生徒の数%でしかありません。支援対策の内容は検討する時期にきているのではないのでしょうか。</p> <p>◎市長 曾於高校の生徒が市内の小中学校に出前授業を行っていただくと、小中学生に曾於高校へ進学すればこんなことが出来るというのを分かってもらえて、進学に繋がるのではないかと考えています。</p> <p>◎馬場委員 私も返済不要の奨学金制度は賛成です。</p> <p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 他の自治体での返済不要な奨学金制度の運用方法としましては、保護者の所得に応じて最初から返済不要とするものや、卒業後に市内に就職した方へ奨学金の返済額相当の補助金を交付しているものがあります。</p> <p>◎市長 奨学金については、今後、調査・検討を行っていきます。</p>
(3) その他	なし